

令和6年度 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科 博士前期課程 A日程

専門科目

以下の文章を読んで、3つの設問に答えなさい。

※著作権保護の観点から、問題は掲載していません

- 問1 下線部①に関して、古代のギリシアやローマにおいて、なぜ、教養を身につけることが自由とかかわると考えられていたのか。本文中の語句を用いながら 150 字以内で説明しなさい（句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は 1 マスに 2 字まで記入してもよい）。
- 問2 下線部②「※著作権保護の観点から、本文に直接かかわる部分は掲載していません」が説かれてきたことの背景を、筆者はどのように指摘しているか。本文中の語句を用いながら 150 字以内で説明しなさい（句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は 1 マスに 2 字まで記入してもよい）。
- 問3 下線部③について、文理融合や総合知の必要性の観点から、あなたの意見を身近な例、専門分野などをふまえて具体例を示しつつ、400 字以内で述べなさい（句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は 1 マスに 2 字まで記入してもよい）。

令和6年度 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科 博士前期課程 A日程

専門科目 出題の意図

【問1】

本文の内容を正確に読解し、要約する問題である。環境と人間に関わるテーマの本文の読解力、ならびに要約文章の正確性、論理性、表現力を問うものである。

【問2】

本文下線部の内容について、筆者が提示する理由を本文中から読み取り、要約する問題である。環境と人間に関わるテーマの本文の読解力、ならびに要約文章の正確性、論理性、表現力を問うものである。

【問3】

筆者の意見をもとに、文理融合や総合知の必要性について、自分の考えを適切に表現できるかを問うものである。思考力、構成力、表現力を問う総合的な問題である。

以上

令和6年度 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科 博士前期課程 B日程

専門科目

以下の文章を読んで、3つの設問に答えなさい。

※著作権保護の観点から、問題は掲載していません

- 問1 下線部①の「※著作権保護の観点から、本文に直接かかわる部分は掲載していません」について、その結果どのようなことが生じると筆者は述べているか。本文中の語句を用いながら 120 字以内で説明しなさい（句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は 1 マスに 2 字まで記入してもよい）。
- 問2 下線部②について、なぜ筆者はそのように考えるのか。本文中の語句を用いながら 130 字以内で説明しなさい（句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は 1 マスに 2 字まで記入してもよい）。
- 問3 今後、日本で脱成長を推進していく場合に、どうすればよいか。筆者が述べる脱成長を参考に、具体案を挙げながらあなたの考えを 400 字以内で説明しなさい（句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は 1 マスに 2 字まで記入してもよい）。

令和6年度 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科 博士前期課程 B日程

専門科目 出題の意図

【問1】

本文下線部の内容について、それが引き起こす結果を本文中から読み取り、要約する問題である。環境と人間に関わるテーマの本文の読解力、ならびに要約文章の正確性、論理性、表現力を問うものである。

【問2】

本文下線部の内容について、筆者が考える理由を本文中から読み取り、要約する問題である。環境と人間に関わるテーマの本文の読解力、ならびに要約文章の正確性、論理性、表現力を問うものである。

【問3】

筆者の意見をもとに、日本の特性を踏まえた環境と人間に関わる課題と解決策を柔軟に思考し、自分の考えを適切に表現できるか問うものである。思考力、構成力、表現力を問う総合的な問題である。

以上